

## 別紙 「平成31年度 学力向上アクションプラン」

足立区立花畑小学校 学校長 小林 浩二

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標 (=数値) <いつまで・何を・どの程度>
1	継 続	朝学習 (パワーアップタイム)	全児童 国語, 算数	毎週水, 金 始業前15分	<p>【指導者体制】担任・副担任</p> <p>【○取組のねらい・目的 ☆方法】</p> <p>○つまずきを早期に発見することで、以後の学習を円滑に進めることができるようにするとともに、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>&lt;国語：校内漢字検定：水曜日&gt;</p> <p>○前学年の漢字の書き取りテストを行うことで、日常生活において適宜使う力を育てる。</p> <p>☆前学年の漢字の書き取りテストを行う。</p> <p>☆全問正解で次のテストに進む。間違えた場合は翌週に再度チャレンジする。</p> <p>&lt;算数：さかのぼり学習：金曜日&gt;</p> <p>○前学年までの学習でつまずいている領域・内容を明らかにし、補充を行うことで、基礎学力の定着を図る。</p> <p>☆区調査の結果を受け、「採点結果からみる指導課題」を作成し、つまずいている単元をピックアップする。</p> <p>☆ピックアップした単元について、東京ベーシックドリルの問題のなかから、教師が抜粋して取り組ませる。</p> <p>☆丸付けは保護者ボランティアが主に行い、20分休みまでに返却する。</p>	つまずき部分の学習終了後、診断テストを実施する。	12月までに前学年の診断テストを90パーセントの児童が合格。1月からは該当学年のつまずきに対応する。
2	継 続	放課後補充学習 (コツコツタイム)	全児童 国語, 算数	毎週月, 火, 木, 金 (25分間)	<p>【指導者体制】担任・副担任</p> <p>【取組のねらい・目的】</p> <p>つまずきを早期に発見し、個別指導をとおして解消し、基礎・基本の定着を図る。また、パワーアップタイムでの未消化問題を解消する。</p> <p>【方法】</p> <p>&lt;木・金&gt;パワーアップタイムでの誤答を受けて、前学年までのつまずきの解消を図る。</p> <p>&lt;月・火&gt;単元テストなどを受けて、当該学年のつまずきの解消を図る。</p>	<p>定着度確認テスト(区調査の再テスト) (7月・9月・11月・1月・2月)</p> <p>※1月の通過率によって、2月に実施するかを決定する。</p>	<p>1月までに実施する定着度確認テストで目標値を90%の児童が通過する。</p> <p>目標値を通過できなかった児童については、夏季休業と冬季休業で補充指導を行う。</p>

3	新規	ベーシックタイム	全児童 国語, 算数	各学級 1時間/週 (同一時間に固 定時間割に組み 込む)	<p>【指導者体制】 担任・副担任</p> <p>【取組のねらい・目的】 当該学年の学習内容のつまずきを解消させるため、既習事項の定着を図る。</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1時間、つまずきが多く見られた国語か算数の観点・単元の問題に取り組む。</li> <li>・可能な限り、保護者の丸付けボランティアに参加してもらい、習熟→評価を素早く行うことにより、問題に取り組む時間を増やす。</li> <li>・学年の実態に合わせ、復習やその週に消化しきれなかった学習内容を指導する。</li> </ul>	つまずき部分の学習終了後、定着度を測る。	既習事項の定着度 90%以上。
4	継続・改善	長期休業学習教室 (サマー・ウインター・スプリングスクール)	学力調査の結果から、担任がつまずきのある児童を抽出する	夏(10日間) 冬(2~3日間)  *必要に応じて春(2日)	<p>【指導者体制】 全教員(交代制)</p> <p>【取組のねらい・目的】 ○過去の学年にさかのぼったつまずきを確認し、その単元の個別指導を行う。</p> <p>【使用教材】 復習問題集</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に対応した復習問題集を用いて、問題に取り組む。</li> <li>・自由学習教室を開室し、補充学習対象者以外の児童の学習する環境を整える。</li> </ul>	終了後、確認テストの実施(自由学習教室を除く)	終了後の確認テストで対象児童の正答率を10%アップする。
5	継続・改善	家庭学習習慣の定着	全児童	通年	<p>【指導者体制】 担任</p> <p>【取組のねらい・目的】 家庭による支援を仰ぐことにより、学習した内容を定着させるとともに、学習習慣の確立を図る。</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度に小中連携事業で作成した手引きを活用して指導する。</li> <li>・研究推進部が作成したカードを使い、毎日児童に提出させる。</li> <li>・月に一度、提出率を算出する。</li> <li>・放課後の補充教室とは別に自由学習教室を放課後に開室し、校長が学習の見守りを行う。</li> </ul>	家庭学習カード提出  提出率・実施率の算出	家庭学習提出率 80%以上。

6	継続	授業力向上	教員	随時	<p>【取組のねらい・目的】 教員の授業力を向上させることにより、児童の基礎学力の定着を図る。</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年の一部教科における教科担任制の導入。</li> <li>・教科指導専門員，主幹教諭，管理職による指導および助言。</li> <li>・主任教諭による校内OJTの実施。</li> <li>・パワーアップタイム，コツコツタイムの充実。</li> </ul>	授業観察カード ブロック検討会 (1回/週)	足立スタンダードに基づく授業観察カードにおいて、4月当初の評価よりもレベルを2以上上げる。
7	継続	読書活動の充実	全児童	随時	<p>【取組のねらい・目的】 読解力を育成する。</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書記録カードを活用した、読書に対する児童の意欲付けを行う。</li> <li>・教員，図書ボランティア，区立図書館員による読み聞かせや本の紹介を実施する。</li> <li>・図書室利用のルールを徹底する。図書ボランティアと図書委員会による図書室の整備を行う。</li> </ul>	読書記録カード	全児童の年間平均読書冊数を30冊以上とする。
8	継続	ニュース見つけた	5・6年生	月曜～金曜 クラス内で交代制	<p>【指導者体制】担任</p> <p>【取組のねらい・目的】 社会の出来事に興味をもたせるとともに、自分の考えをまとめ、文章に表す力を身に付ける。</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学級に毎日1紙ずつ配布し、気になった記事の内容と自分の考えをまとめさせる。</li> <li>・職員室前に掲示をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記事の内容のまとめ</li> <li>・自分の考えの記述内容</li> </ul>	夏までには全員が取り組むことができるようにする。 秋以降は表面的な感想ではなく、詳しく自分の思いを書き表せるようにする。

※ その他(日記・短作文，試写，百人一首等)の取組についても，継続・改善し，各学年の発達段階に応じて取り組ませる。